

コミュニケーションと表現： 情報メディアにおける表現教育の実践

鈴木正美 藤木正則 稲垣立男

●要約

「コミュニケーションと表現実習」は、稚内北星学園大学の1年次必修の授業であり、情報メディア学部における「メディアと表現」教育の入門編的役割を担っている。授業内容は個々の身体と感覚、その触れ合い、コミュニケーションから発生する表現を体感する一連のワークショップ的構成になっている。開学前から、故宮前正樹を含めた藤木正則、鈴木正美によってその内容が検討され、情報メディア学部での表現教育の姿を模索してきた。本稿では授業の開設にいたるまでの沿革から現在行われているカリキュラムについて、またこれまでの授業での課題、今後の展望について示す。

●キーワード

コミュニケーション／表現／プロセス／ワークショップ／五感